

国語教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
学校教育論	岡谷英明	現代学校の課程を理論的に解明することを目的とする。変貌する社会の中で教育システムがどのように編成されるべきかを考える。
学校経営論	平井貴美代	学校の経営過程や組織的特性に関する基本的事項について学習するとともに、開かれた学校づくりや学級崩壊など、最近とくに話題となっている問題についてアプローチするための視点や方法を検討する。 テキスト使用：『新版 学校教育の基礎知識』（協同出版）
生徒指導論	高柳真人	児童・生徒の自己指導能力を育てながら、その自己実現を援助するというガイダンスの視点に立った生徒指導を進めていくための理論や方法について学ぶ。
学習指導論	馬場園陽一	自ら学ぶ意欲や考える力の育成を目指す授業の方法、一人一人の児童生徒の良さを生かす授業の方法、さらにはこれらの力の育成を目指した教育評価の方法について、その理論的側面を探り、学習指導への実践的なアプローチを試みる。また、新しい学力観のもとで実践されている様々な授業方法（例えば、体験学習、総合学習、問題解決的学習、コース別学習、T・T等）についても紹介し、学力形成との関係を論じる。
教育相談論	金山元春	教育相談は、人間関係の営みの中で行われる実践活動である。本授業では、受講生の間関係能力の開発を通じて、教育相談の実践力の向上をはかる。具体的には、グループワークを活用し、自己理解、他者理解を深めたり、社会的スキルを学んだりする機会を提供する。講義については、実践経験豊富な研究者あるいは実務家でありながら学会等で活躍されている方の研究成果を上げる。
情報演習Ⅰ	中西 秀男	高度情報化社会に積極的に対応できる情報処理の基礎能力を身に付けた教員の養成を目的として、コンピュータとソフトウェアの基本操作並びにネットワークの利用方法に関する演習を行う。情報演習Ⅰでは、Windowsの基礎、電子メール、文書処理及び表計算などよく利用される機能を中心に基本操作に重点を置いて演習する。
情報演習Ⅱ	赤松 直	ある程度習熟した人を対象に、コンピュータの活用能力、情報処理に関する総合力を身に付けることを目的として演習を行う。内容は、ネットワークの設定およびその基礎知識の習得、ホームページ作成、各種ソフトウェアの活用などである。これらを通して、情報化社会の課題や情報リテラシー教育についても一緒に考えることにする。自前のノートパソコンを携行願いたい。
国語科教育特論Ⅰ	渡邊春美	国語教育の史的展開の把握。国語教育个体史の概念と実際に関する考察。古典教育論、古典教育論史、古典教育実践史に関する考究。実践理論の構築に努める。
国語科教育特論演習Ⅰ	渡邊春美	国語科教育特論Ⅰ・Ⅱと関連させ、大学院生各自の研究テーマに基づいて、国語教育の理論と実践に関する知見を深め、修士論文の執筆とともに、修士論文のテーマに基づく研究の成果を学会で発表できるよう指導する。
国語科教育特論Ⅱ	北 吉郎	文学的文章教材、説明的文章教材に関する実践理論についての原理的研究を行う。特に教材論・授業論・評価論等に関し問題点を把握するとともに、その解決のための仮説を樹立し、検証等について論究する。
国語科教育特論演習Ⅱ	北 吉郎	新美南吉・宮沢賢治・今西祐行等の代表的教科書教材や、教科書掲載の主要説明文教材に関する授業実践を分析・考察し、基本的問題や具体的な指導方法について論究する。
国語学特論	久野 眞	現代日本語を音韻・語彙・文法・表現・言語生活などの視点から考察し、共通語と方言の比較を社会言語学的に行う。
国語学特論演習	久野 眞	日本諸方言の音声資料、方言集、方言辞典などを取り上げ、各地の方言の音韻・文法・語彙の各言語要素を分析し、併せて国語史との比較を行い、現代日本諸方言の歴史的な位置づけを行う。

国語教育専修

授業科目名	担当者	講義概要
国文学特論Ⅰ	阿部眞司	『古事記』『日本書紀』『万葉集』の神話・伝承・物語、さらに祝詞などを取り上げ、その発生、形成、伝承等を考察し、古代日本文学の生成と展開を論及する。
国文学特論演習Ⅱ	阿部眞司	古代文学の代表的作品である『古事記』を読み(漢字テキスト)、その神話・伝承・物語を文脈の中に位置づけて考察する。そのことを通して古代日本文学の発生・定着を多面的に考究する。
国文学特論Ⅱ	井出幸男	上代から近世に至るまでの日本歌謡史の展開を、庶民歌謡の系譜という視点でとらえて考察し、併せて民俗・芸能などの背景についても論究する。
国文学特論演習Ⅱ	井出幸男	中・近世歌謡の代表的存在である室町小歌関連の諸作品(閑吟集、宗安小歌集、隆達節歌謡、風流踊り歌、巷謡編など)について、注釈的観点を基盤として考究する。
漢文学特論	玉木尚之	漢字の歴史を概観し、字源・字意・字形・字音などについて漢字のはらむ問題と、漢語語彙の持つ問題をさまざまに検討する。
漢文学特論演習	玉木尚之	漢字の字源・字義・字形・字音、漢語の語彙や古典漢文などの持つ問題について、順次取り上げ、調査検討する形での演習を行う。
書道特論	北川修久	書写書道教育の学習方法及び研究方法を習得するため、古典の臨書を行い、表現の理法と技術を学ぶ。同時に臨書と創作の関係が密接不離かどうかも考察したい。
書道特論演習	北川修久	書の古典はそれぞれ時代背景やその時代の生活感情と密接な関係がある。鑑賞や技法分析によって、その変遷を明らかにし、現代の書について考えていく。
国語科教育実践研究Ⅰ	渡邊春美 北 吉郎	国語科指導論の成果をふまえ、実験授業その他の手法を取り入れて、国語科教育に関する附属校園等での授業研究を基に、教材研究、指導法等について、理論的に研究することを指導する。
国語科教育実践研究Ⅱ	久野・井出・ 玉木・北川	わが国における国語科教育実践史の研究を踏まえ、附属校園等における授業の記録・観察及び授業資料の研究などを通じて、国語科領域の教材開発について、実証的に研究するよう指導する。
国語科教育実践研究Ⅰ(長期インターンシップ)	久野・井出・ 北川・北・ 玉木	附属校園等において専修指導教員及び実習校指導担当者のもと、教材開発、学級経営、児童生徒の観察、子どもとのふれあいにもとづく単元計画作成、または、LD、ADHD、不登校、乳幼児等子どもの観察にもとづく実習計画作成を行い、実践的な課題研究テーマ設定の基盤を形成する。さらに、単元計画の実施、研究会への参加、公開研究授業、または、事例研究会への参加、ケース参加の実施を行い、結果を関連分野の研究方法に基づき省察することを通して、高度な専門知識・能力に裏付けられた実践的指導力を育成する。
国語科教育実践研究Ⅱ(長期インターンシップ)	久野・井出・ 北川・北・ 玉木	
課題研究	久野・井出・ 北川	各自の研究課題を設定して、その研究計画に従って高度な専門的知識の育成をはかるとともに、院生自らが主体的に研究する能力を開発し、研究内容の集大成を目指すよう指導する。